

大項目	事業所評価アンケートで該当する質問	利用者・保護者の主な意見 一部抜粋	事業所としての対応 新規)新たに対応すること 継続)引き続き対応すること
施設・人員	<p>子どもの活動等のスペースが十分に確保できているか</p> <p>職員の配置数や専門性は適切であるか</p> <p>事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか</p>		<p>【施設について】</p> <p>継続)児童福祉施設の基準に則り、施設の整備を行っている。</p> <p>継続)大部屋の隣に個室を用意し、体調不良の際やクーリングの際に使用できる環境がある。</p> <p>継続)必要に応じてパーテーションを用いるなど、集中しやすい環境作りを心掛けている。</p> <p>継続)スイッチ、ボタンなど、利用者が気になるものには目隠しをしてスムーズな生活ができるように配慮している。</p> <p>継続)安全管理面で、防犯カメラの設置とともに、倉庫には鍵を設置し、子どもが入らないように(死角を無くすように)改善を行っている。</p> <p>継続)認定こども園と連携し、ブランコや滑り台、アスレチックなど、粗大運動に役立つ固定遊具を使用できる環境を整えている。</p> <p>継続)児童福祉施設の法令に適合し、施設は車いす対応をしており、エレベータ、車いす対応トイレ、スロープなどを設置しています。引き続きバリアフリー化を適切に実施し、当該内容について周知してまいります。</p> <p>【人員について】</p> <p>新規)個別対応が必要な際は、人や場所を変えて対応ができるように準備をしている。</p> <p>継続)有資格者、加配職員を積極的に配置している。</p> <p>継続)利用予定人数を下回る場合は、利用者数に合わせて職員の人数が過度にならないよう人数調整をおこなっている。</p> <p>継続)放課後等デイサービスにおいては、小学校や中高教員免許保有者を配置し、専門性の高い支援ができる体制を目指している。</p> <p>継続) 送迎ドライバーを専属で配置し、保育士や児童指導員等が支援に集中できる環境を整えている。</p>
支援内容	<p>子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援・放課後等デイサービスの計画が作成されているか</p> <p>活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか</p> <p>放課後児童クラブや子育て支援拠点との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか</p> <p>支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか</p>	<p>運動はいつ見ても落ち着いて楽しい姿、勉強では悪たれている姿で悲しくなります…今回は元気に頑張っている姿を見て良かったです。</p>	<p>新規)保護者の方に向けて、活動プログラム予定の案内を作成し、配布をした。</p> <p>継続)アセスメント個別支援計画作成→支援改善のPDCAサイクルを重視していく。</p> <p>継続)児童発達支援ガイドライン、放課後等デイサービスガイドラインに則り、計画の作成・支援を実施する。</p> <p>継続) 運動・学習共に、プログラムの意図や狙いを明確にし、必要な情報を保護者にも共有していく。</p> <p>継続)毎週、職員全体で指導計画(活動プログラム)のミーティングを行い、内容の確認をし、支援の質向上に努める。</p> <p>継続) 無学年式オンライン教材すららを導入し、一人ひとりの学習状況を把握し、学習内容を設定していく。</p> <p>継続) 月ごとにメインとなるプログラム(鉄棒、跳び箱等)や順番や器具に変化を持たせ、新鮮な学びと共に、利用者が必要としている活動となるように指導案を計画していく。</p> <p>継続) 子どもにとって楽しさと学びを両立させたプログラムを提供していく。</p> <p>継続) 基本的には集団プログラムであるが、利用者に応じて個別に対応するなど、子ども達が安心して通所できる環境を整えていく。</p> <p>継続) 小学校の放課後キッズクラブとの連携も強化していく。(バスの時刻表やバス利用児の周知、待機場所の確認を行う。)</p>
情報共有	<p>日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか</p> <p>保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか</p> <p>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか</p> <p>子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p> <p>子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか</p> <p>定期的にホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか</p>	<p>【オンライン参観】</p> <p>・周りのみんなとの関わりや自然な様子が見られてよかったです。</p> <p>・音に引っ張られたり、お友達の動きが気になり、落ち着きのない様子が見られたので、何か策をご相談できたらと思いました。</p> <p>①ここ1-2年でビーンズの先生が増えたように思いますが、外部生なのもあり、当日の担当やサポートに入ってくれている先生の名前や顔が分からず少し不安に感じています。</p> <p>②担当の先生を知る手段があれば、教えていただくと助かります。</p> <p>・出来るようになったこと、まだ苦手としている普段の様子を見ることで、子供と一緒に振り返るよい機会となりました。</p> <p>・子供が先生とどんな会話をしながら勉強の時間を過ごしてるのかわかり良かった</p> <p>・学習における先生の関わり方がとても参考になりました。</p> <p>・冒頭の先生方のご紹介、とても良かったです!親しみを感じました(^)</p>	<p>新規)保護者の方向け職員紹介を作成し、オンライン参観時など、見て頂ける機会に合わせて掲載をして対応をした。</p> <p>新規)就労をしている保護者の方に合わせて、時間帯等、電話ではやり取りがしづらい際、日を跨いで対応ができる、フォーム、メール等を活用して対応をした。</p> <p>継続)支援の終了後に日々の振り返り業務報告、申し送りを職員間で共有している。</p> <p>継続)個別支援計画・モニタリング等の定期面談とは別に、要望に応じて個別に相談・助言を行っている。</p> <p>継続)1年に1回、自己評価を公表する。</p> <p>継続)オンライン参観など、保護者に見学いただく機会を設け、定期的にアンケートを回収している。</p> <p>継続)保護者のニーズにあった情報提供体制をつくる。</p> <p>継続)利用者専用のアカウントを発行し、定期的に活動内容やイベント情報について保護者に情報を共有する体制を整えていく。Googleクラスルームでの活動及び支援内容の情報更新を随時行っている。</p>
危機管理	<p>個人情報に十分注意しているか</p> <p>緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか</p> <p>非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか</p> <p>子どもは通所を楽しみにしているか</p> <p>事業所の支援に満足しているか</p>	<p>・本人は土曜日を楽しみにしています。今後ともよろしく願います。</p> <p>・通うことをとても楽しんでます。</p> <p>・本当にビーンズに通わせて良かったです!息子はビーンズが大好きです。</p> <p>・子どもは、コマ作りなどの仕事が楽しいそうです。おやつは、クッキーなど美味しかったけれど、ひじきの入ったお菓子は苦手だそうです。</p>	<p>新規)マニュアル関係の情報を一部のしおりに集約し、契約時に直接説明する機会を取り入れた。</p> <p>新規)月一回の避難訓練に加え、消火訓練として、実際の消火器の使用方法について動画を視聴するなど、利用者がより非常時に備えた知識を学べるように対応をした。</p> <p>継続)アカウント発行に際してはID登録を行い、氏名等の情報はオープンにならないように配慮する。</p> <p>継続)書類、情報等は鍵付きの棚に収納している。端末操作の場合は複数のパスワードを設定している。</p> <p>継続)各マニュアルについては年1回全職員の集合研修を行っている。また、定期的に見直し、改定時には職員に通知を行っている。</p> <p>継続)職員は年に一度、認定こども園と合同で応急救護術、AED操作の研修を受講している。</p> <p>継続)アレルギーに関して、認定こども園における給食(おやつ)提供での管理体制を用いて、エラーがないよう徹底していく。</p> <p>継続)月に一回、火災・地震を想定した訓練をおこなっている。1月は月曜日利用者、2月は火曜日利用者、3月は水曜日利用者…と、極力全利用者が避難訓練を実施できるようにスケジュールリングを行っている。非常階段の使用や、自動扉の開閉確認など、緊急時を想定した避難方法に取り組んでいる。また、その内容について保護者に共有している。</p> <p>継続)BCP研修を受講し、最新の法令に基づき、計画を策定していく。</p>